

事務事業名	雲南夢ネット運営事業(デジタル化整備事業)	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	情報政策G	課長名	三原修三
	施策名	(06)地域情報化の推進	担当者名	伊藤 豊	電話番号	0854-40-1015
	目的	対 象 市民 意 図 高度情報通信環境を利活用する。	予算科目	会計 011001 款 1001 大 事業名 情報通信総務管理事業	(内線)	3521
	目的	対 象 地域情報を享受していない市民 意 図 情報通信(技術・手段)を確保する。	項 目 055529 中 事業名 雲南市・飯南町事務組合負担金(CATV)			

1 現状把握[DO]

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21 年度～ 25 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
H21年度 雲南市エリア内受信点整備(大東町、三刀屋町 2箇所)及びOFDM変調機器整備、自主放送自動送出装置
H22年度 広島HTV地デジ受信点整備・取材用機材・デジアナ変換
H23年度 データ放送システム
平成24年度 スタジオ・調整室他
平成25年度 中継システム

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 平成23年7月の地上アナログ波の停波にあわせた取組、地上デジタル放送・CS放送のデジタル化対応、自主放送のハイビジョン化、データ放送の導入 CS放送のハイビジョン化移行 ・スタジオ及び調整室のハイビジョン化整備	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 平成23年7月の地上アナログ波の停波にあわせた取組、地上デジタル放送・CS放送のデジタル化対応、自主放送のハイビジョン化、データ放送の導入 CS放送のハイビジョン化移行 ・中継用撮影設備、中継システム設備及び車両設備			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア CATV加入者件数	件	13,199	13,166	13,114	13,200
	イ CATV加入世帯数	世帯	12,292	12,286	12,241	12,300
	ウ STB契約世帯	世帯	1,995	2,603	2,619	2,700
	エ CSデジタル放送契約数	件	1,981	2,500	2,479	2,500

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	市民	ア 人口(人口推計)	人	41,917	41,159	40,548	40,650
		イ 世帯数(3月末住基世帯)	世帯	13,667	13,647	13,782	未確定
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
・ケーブルテレビの機器及び設備を地上デジタル放送に対応するよう整備する。 ・自主放送をデジタル化し、県内テレビ局との連携を図り、市内の情報格差を是正する。 ・市民へ行政情報(地域情報含む)を提供する。	ア ケーブルテレビ加入率	%	89.9	89.8	88.8	89.0	
	イ STB設置世帯割合	%	15	19	19	20	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
雲南市・飯南町事務組合負担金 55,161千円 (内訳)・デジタル化整備 55,161千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円	9,100	54,500	28,500
		その他	千円			
		一般財源	千円	6,669	23,484	661
		事業費計(A)	千円	15,769	23,484	55,161
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1
		延べ業務時間	時間	403	157	360
		人件費計(B)	千円	1,567	619	1,410
		トータルコスト(A)+(B)	千円	17,336	24,103	56,571

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成23年7月にアナログ波が停波した。平成23年4月のCS放送のデジタル移行により全てデジタルで再送信している。 自主放送は、データ放送等デジタル化を図ったが、アナログ画質で送信しており、ハイビジョン化が急がれるところである。	自立した再送信機能が整備できるまでは、ケーブルテレビ事業者のネットワークにより、地上デジタル波を加入者に提供してきた。	デジタル放送移行対応のための市民への周知(市民、議会)

事務事業名	雲南夢ネット運営事業(デジタル化整備事業)	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	デジタル化による高機能を活用すれば、新たな行政サービスの展開も可能である。ケーブルテレビが提供する情報の拡大とサービスの向上が課題である。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	事業を廃止した場合、デジタル化による高機能なサービスが市民に提供できなくなる。また、国の政策とも相反することになる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似する事業は無い。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	一部事務組合において、整備費用の圧縮に取り組んでいる。整備内容も県内事業者と連携し圧縮に努めている。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	施設の整備等は、雲南市・飯南町事務組合の共同事務として実施していることから、市の業務に負担となることはない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	テレビ受信機の形態によってサービスを受用できない市民もいるが、基本は全ての世帯を対象に実施している。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<p>ケーブルテレビの自主放送チャンネルの形態と番組の充実 CS放送等デジタル放送番組を充実し、加入者を拡大する。 現状の市民サービスの維持を前提とした場合、民間事業者の参入が困難なことから、引き続き事務組合における経営の合理化を進めていく。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			